

## (仮称) 都幾川遊水地に関する説明会 の開催概要について

令和8年1月18日(日)、高坂市民活動センターにおいて(仮称)都幾川遊水地に関する説明会を10時30分から開催し、合計63名の住民、地権者の方々にご参加をいただきました。誠にありがとうございました。

説明会では、(仮称)都幾川遊水地の施設計画、今後の工事の進め方、初期湛水地及び減勢池掘削の効果確認、入間川流域緊急治水対策プロジェクトの進捗状況・効果等について説明を行いました。

### 説明の概要 (会場での主なご意見や質疑については3頁に記載しています。)

#### (仮称) 都幾川遊水地の施設計画

前回の説明会(R6.3)から検討・設計を進めた遊水地整備に必要な減勢池、初期湛水地、排水門、越流堤等の施設について、検討結果を反映した遊水地整備後の施設計画、完成イメージ動画をご覧いただきました。

#### 今後の工事の進め方(施工ステップ、家屋調査)

遊水地整備途中の内水への影響、水田等の耕作への影響、現道の通行機能確保を考慮した現時点の施工ステップについて、説明を行いました。

工事による建物等への影響を確認するため、工事着手前及び工事完成後に家屋調査を行います。家屋調査は、工事の種類や周辺の地盤条件から、対象範囲に掛かる敷地内の建物等で実施を予定していることを説明しました。

#### 初期湛水地及び減勢池掘削の効果確認

遊水地整備途中においても、減勢池、初期湛水地を掘削することで、内水による影響が抑えられていることを、内水シミュレーションにより確認したことを説明しました。

東松山市から、雨水貯留池、正代運動広場について、説明を行いました。

雨水貯留池は、「地域からの要望により、ポンプ施設では内水が排出しきれない場合などへの備えとして、流下先の樋管や水路などの整備後に市が整備を行います。」と説明しました。

正代運動広場は、「これまでと同じ場所に原状復旧を行います。今後、利用する皆様、地域の皆様のご意見を伺った上で、施設概要を検討してまいります。」と説明しました。



説明会の様子



説明会の様子

※説明会で配付した資料、完成イメージ動画は、荒川上流河川事務所ホームページに掲載しています。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00891.html>



国土交通省 関東地方整備局

荒川上流河川事務所

お問い合わせ先

関東地方整備局荒川上流河川事務所 平日 9:15~17:15

(遊水地計画全般に関すること) 流域治水課 TEL: 049-246-6360

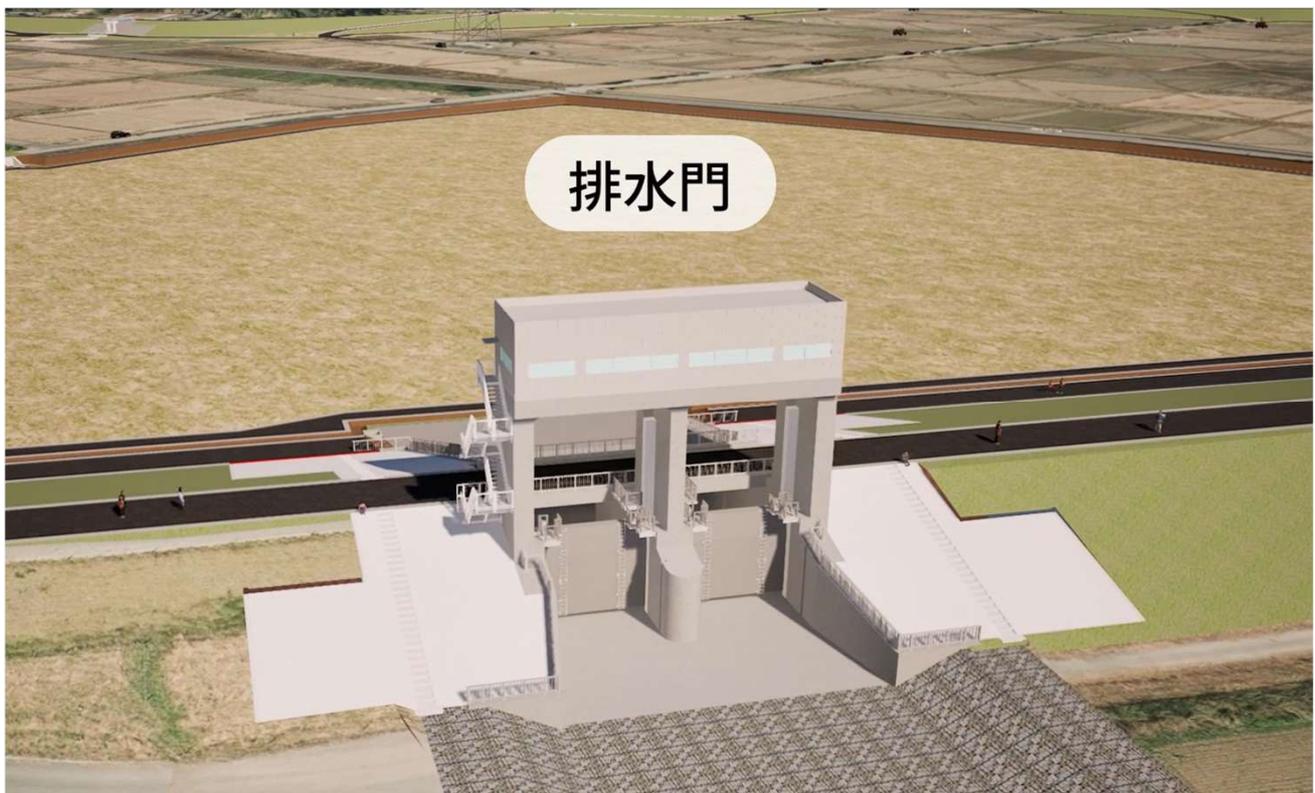
(用地・補償に関すること) 用地課 TEL: 049-246-6373

(工事に関すること) 工務課 TEL: 049-246-6359

# (仮称) 都幾川遊水地イメージ図



施設の配置計画



完成イメージ動画より抜粋

※今後の検討等により変更が生じる場合があります。

# 「説明会での主なご意見・質疑等について」

## 頂いた主なご意見と説明内容

- ・ 放映した遊水地完成イメージ動画をYouTubeに投稿できないか。

→ (荒川上流河川事務所回答)

動画については、本日の説明会資料と共に荒川上流河川事務所HPに掲載します。

- ・ 家屋調査の予定範囲からは外れているものの、家屋調査を実施してほしい。

→ (荒川上流河川事務所回答)

ご自宅の詳細な位置を確認させていただき、該当する場合は、家屋調査を行います。

- ・ 用地買収と地役権設定の契約進捗があまりにも遅いのではないか。

→ (荒川上流河川事務所回答)

令和8年度完了を目標に進めているところですが、なるべく早い時期に完了させるよう努めてまいります。

- ・ 完成目標について、具体的な年次を説明してもらいたい。

→ (荒川上流河川事務所回答)

地盤状況がよくない箇所は慎重に計測をしながら盛土等を進める必要があり、排水門や越流堤は一般的に1~2年で出来るものではなく、各地で進められている同規模の遊水地整備においても、工事着手から10年程度かかっている状況となります。

また、遊水地の整備費は、事業全体や各年度の配分額が決まっておらず、今後も、人件費、資材価格の高騰等で動向が不透明な状況になっていることから、令和10年代中頃までの完成予定をお示しているところです。今後も説明会などで情報提供させていただきます。

- ・ 地域の内水に対する安心として、雨水貯留池の早期整備が必要ではないか。

初期湛水地(2)の整備が最後になるのは何故か。

→ (東松山市回答)

地形的にも初期湛水地、減勢池を先に整備することが有効と考えています。今後も遊水地整備と調整を取りながら進めてまいります。

(荒川上流河川事務所回答)

内水への効果を早期に発現できる初期湛水地(1)の整備を優先しています。

- ・ 河川の樹木伐採は、継続的に行っていくのか。

→ (荒川上流河川事務所回答)

河川内の樹木繁茂や土砂堆積の状況を定期的に把握し、必要な箇所は適宜対策を行います。

- ・ 工事による地下水や清水等への影響についても調査してほしい。

用地買収により移設する農業用ポンプから水を汲み上げられるのか。

→ (荒川上流河川事務所回答)

地下水の流れを含め、工事箇所周辺の道路や水路の状況を把握して、工事を進めていきます。ボーリング調査を行い、水が出てくる地層を把握したうえで農業用ポンプの設計を行っています。移設後も、水が汲み上げられるか等を確認する試運転を行うことも考えています。

- ・ 樋管や排水門などの管理は誰が行うのか。排水ポンプは停電時でも稼働できるのか。

→ (荒川上流河川事務所回答)

周囲堤樋管は堤防機能を有することから、荒川上流河川事務所で管理します。排水ポンプの動力は燃料を使用するため、停電時でも稼働可能です。